

## 各部局長が語る今年の抱負！ 学習支援部・ボランティア活動推進部

### 会員個々の戦力アップ 学習支援部 部長 糸井 史郎



令和 5 年の年頭にあたり、学習支援部の抱負を述べさせていただきます。令和 4 年、国のコロナ感染症対策は、重症化リスクの低いオミクロン株への移行により、感染防止と社会経済活動の両立を図る方針となり、区施設の使用制限も緩和され、「あだち区民大学塾」の活動も 3 年ぶりに通常の開催が可能となり、令和 4 年度は 18 講座開催の見込みとなりました。

令和 5 年度の活動は現在立案中ですが、すでに前期 4～9 月の講座が決定し、後期 10～3 月の講座も、テーマと講師が決まりつつあります。特に生誕 100 年となる遠藤周作・池波正太郎の記念講座や「鷗外と漱石」など文学講座の充実が期待できると思います。

しかしながら、令和 5 年度は近年の会員の高齢化とコロナによる活動の低下を考慮して、講座数は月に 1 講座、年間で 12 講座前後を目標とし、戦力が整った場合は年間 18 講座の元のペースに戻してゆきたいと思います。年末にかけて、3 人の新会員が加入していただけました。令和 5 年度は更なる新会員の入会と、会員個々の戦力アップで乗り切ってゆきたいと思います。会員各位のご協力をお願いします。

### 組織には常に新しい風 ボランティア活動推進部 部長 林 令子



卯年がスタートし、今年もみなさんが生き生き活動して頂くために、ボランティア活動推進部はどんなことをしていったらいいか考えています。長い期間コロナ禍のため、講座以外は会員の皆さんと親しく触れ合う集まりができず、どうしたものかと思っておりましたが、去年はようやくお茶会と情報交換会を行い、ささやかでしたがみなさんと一堂に会すことができました。

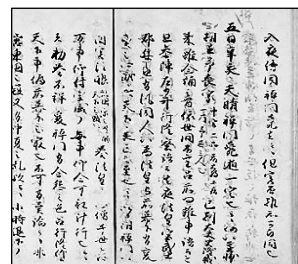
大学塾講座を真剣に取り組むことは大事なことです。まわりのいろいろな情報を取り入れたり、学習をしたり、時には皆さんとの懇親会で息抜きしながら楽しく過ごすことも大切なことです。去年は新しい方が入会されて、積極的に活動参加をして頂いています。組織には常に新しい風が必要です。これからも新会員をさらに増やして元気な会にしていきたいものです。今年もコロナはまだ持続中なので、気をつけながらみなさんに活発な活動がして頂けるように、ボランティア活動推進部は側面から支えていきたいと思っています。

# 令和4年度 大学塾 第4ステージ 開催案内

## 中世を読み解く『日記』に見る中世 II

本講座では、中世の貴族の日記（古記録）を読みながら当該期の社会を見ていきます。はじめに中世社会についての概説を行い、続いて史料を読み進めていきます。

各日記には、当該期の「政治・経済・文化」に関する内容が記されています。さらに記事には記主の性格が反映されており、大変興味深いものとなっています。



講師：大関 直人 氏

江東区 教育委員会 文化財専門員 立教大学 兼任講師

日時：3月4・11・25日（土曜日）全3回 午後2時～4時

会場：足立区生涯学習センター（学びピア21内）5階 研修室1

講義内容：第1回 中世とはいかなる時代か？ 中世の日記とは一日記に中世を読む一

第2回 平安時代後期～鎌倉時代の日記を読む 『玉葉』・『吉記』等

第3回 南北朝～室町時代の日記を読む 『看聞日記』・『親長卿記』等

## 令和5年1月 月例会 開催報告

### 「あだち区民大学塾」の講座企画と運営について



1月の月例会は「あだち区民大学塾」の講座の作り方をテーマに会員の金子勝治さんよりマニュアルに基づき説明をして頂きました。

参加者は新会員の方も含めて14名でした。

金子さん手作りのパワーポイントの資料とその説明文書（マニュアル-抜粋）講座の企画、運営にかかわる一連の附表など、たくさんの資料を用意して頂

きました。限られた時間内ですべてを説明するのはなかなか大変なことで、実際に講座の企画や運営を経験していないと内容を十分理解するには時間が足りなかったかと思います。細かい説明文書の資料を作成して頂いたので、個々に読みこなして頂き、今後経験者と一緒に講座に携わる中で具体的な講座の作り方のひとつひとつを身につけて頂いたらいいと思います。

本来、講座チームを作って講座に取り組むことが理想ですが、「コロナ禍」の中、大勢で集まれない、活動する方が減ってきている等の状況もあり、現在は何人かの人たちに偏りがちで一部の人たちの負担が大きくなっているのが現状です。今後は誰もがコーディネーターやリーダー、担当者などの役割につき、主体的な運営がしていけたらいいと思います。会員の中には纏まった資料がもらえたので後で読んで理解し、参加したいと言っておられる方もいました。何回も講座作りを経験していると惰性で流されるような時もあるので、年に1回位はマニュアル点検の意味でも、このような学習会が行われるのは良いと思われま

す。金子さん、講師をしてくださりありがとうございました。

（ボランティア活動推進部）



# 令和5年1月 運営委員会 報告・連絡

## 代表挨拶：報告および提案

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りいたします。  
コロナ禍も3年が経過しましたが、昨年は4月から予定された講座は前年度（令和3年度）に中止、延期された8講座を含め14講座を開催いただきました。3月までに残り4講座が予定され令和4年度は18講座が終了する予定です。運営を担当された皆様のご協力に感謝申し上げます。

4月にはNPO法人「楽学の会」として20周年を迎える節目の年となります。  
平成14年10月25日に制定された「設立趣旨書」に従い、学習支援ボランティアとして、“地域の学ぶ人々の支援と自らも学び輝きを目指す”団体として新たな気持ちで継続して活動していきたいと思っております。継続するための最大の課題は「会員数の拡大」だと考えており本年も会員の獲得に全力で取り組みます。本年も事業活動と会員獲得のためご支援ご協力をよろしくお願い致します。

## 議事

- (1) 情報交換
- (2) 月例会開催について
  - ・12月の月例会は12月19日（月）「情報交換会」  
当会の会員15名が参加し、3年振りに懇親会を開催していただきました。
  - ・1月の月例会は1月12日（木）大学塾の講座の作り方 広報G 金子勝治氏
- (3) あだち区民大学塾（検討会議・企画会議）
  - 12月「話し方の改善」 応募者 26名 岡部 晃彦講師 12/1,8,15
  - 1月「徳川家康と二英傑」 応募者 74名 跡部 蛭講師 1/15,22,29（日）
  - 2月「日本書紀」編纂1300年 応募者 24名（1/5現在） 榊原 金市講師 2/7,14,21（火）
  - 2月「遺産相続とその手続き」 応募者 17名（1/5現在） 奈良井 達講師 2/10,17（金）
- (4) 受託事業について  
ナシ
- (5) 各部局・PTからの報告および提案
  - ① 学習支援部・・・講師についての情報交換
  - ② ボランティア活動推進部・・・1/11(水)部会、1/12(木)月例会の案内
  - ③ 事務局・・・1/17(火)部会にて会計処理、講師への源泉徴収票の発行、税務申告（1/31）
  - ④ 広報グループ・・・足立朝日の広告「楽学の会」の文字を大きく依頼した。
- (6) その他
  - ① 会員募集のためのチラシの提案・・・内容を見直し、1月の講座に受講者に配布して会員を募集する。
    - ・記載内容を削減し、フォントを大きく見やすくする。・講座実績は令和4年度のみとする。
    - ・連絡先はあだち区民大学塾事務局（生涯学習センター内）とする。
    - ・1/12(木)までに修正し再提案
  - ② 1月事務局当番の募集・・・1月の当番は全てが埋まりました。（2023.1.5付け）

次回運営委員会 2月2日（木） 14：30から（研4）

## 新入会員 紹介

### タイムスリップしたような感覚

（松下朋子）

12月に入会しました松下と申します。2018年に退職してからコロナ禍もあり、外に出る機会が減り、急速に進む老化（身体も頭も）に危機感を抱いていました。そんな折り、声をかけていただき、入会することとなりました。わからないことだらけで驚くことも多々あります。タイムスリップしたような感覚になることもあります。

そんな中、いくらかでもお役に立てればと思っています。今年から高齢者と呼ばれる年齢とはいえ、楽学の会では若手のようです。皆様のご指導のもと成長できればと自分に期待しています。



## ◎講座名：シリーズ武将と信仰 徳川家康

日 時：2/11(祝) 午前 10 時～正午  
 対 象：16 歳以上の方  
 会 場：5 階 研修室 1  
 受講料：800 円  
 定 員：60 人（事前申込先着順）  
 講 師：生駒 哲郎氏（東京大学史料編纂所）  
 内 容：戦国武将の華々しい活躍には皆心を踊らされますが、その行動に隠された武将の考えや思いまではなかなか見えてきません。武将の信仰に焦点を充てる事で、それぞれの政への考え方などを学び、新しい視点で歴史を見てみましょう！家康は死後、神としてまつられますが、そのいきさつについては様々な思惑が絡んでいきます。また、東照大権現となった家康を利用することで精神的にも江戸の基盤を築いていきます。家康の信仰と死後の動きと政の関係を考えていきます。

## ◎講座名：心理学みたいな経済学 行動経済学で考える私たちの生活

日 時：2/25(土) 午前 10 時～正午  
 対 象：16 歳以上の方  
 会 場：5 階 研修室 1  
 受講料：800 円  
 定 員：50 人（事前申込先着順）  
 講 師：川西 諭氏  
 （上智大学 経済学部経済学科 教授）  
 内 容：今日、激安スーパーで買った野菜は本当に安いのでしょうか!? 私たちが直感や思い込みで選ぶ選択は、実は合理的ではない事があります。人間の心理を読み解き活用する、行動経済学のおもしろさを知っていただきます。

お申込みは：電話(03-5813-3730) 又は直接窓口  
 インターネット [近所 de まなびナビ] で検索  
 イベント・講座情報→講座予約システム

### 令和 5 年 2 月「月例会」のご案内

日 時：2 月 16 日（木）午後 3 時～5 時  
 場 所：生涯学習センター5 階 研修室 4  
 講 演：「社会福祉協議会の事業について」  
 講 師：足立区社協 地域福祉部 部長補佐  
 鈴木 香世 氏

### 令和 5 年 3 月「月例会」のご案内

日 時：3 月 24 日（金）午前 11 時  
 場 所：東部伊勢崎線 牛田駅前 集合  
 テーマ：「陽光桜を見る会」  
 （詳細は後日チラシにて参加者募集）

\*皆様の積極的な参加をお待ちしています。  
 （ボランティア活動推進部）

- ◎ 運営委員会  
2 月 2 日(木) 午後 2 時半～4 時 研修室 4
- ◎ 月例会  
2 月 16 日(木) 午後 3 時～5 時 研修室 4
- ◎ 学習支援部  
2 月 16 日(木) 午後 1 時～2 時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部  
2 月 8 日(水) 午後 2 時～4 時 ワークルーム
- ◎ 事務局  
2 月 3 日(金) 午後 2 時～4 時 ワークルーム  
2 月 14 日(火) 午後 2 時～4 時 事務局部会
- ◎ 広報グループ  
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議  
2 月 16 日(木) 午後 2 時～3 時 研修室 4
- ◎ 大学塾講座企画会議  
2 月 2 日(木) 午後 1 時半～2 時半 研修室 4
- ◎ 生涯学習センター 休館日  
2 月 13 日(月)

## ★お問い合わせ＆ご意見

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ  
事務局 江川武男 電話:090-3105-8140  
E-Mail : [takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp](mailto:takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp)

## 編集後記

### 脱炭素化社会に向けての取り組み(その 2) 再生可能なエネルギーの普及

日本のエネルギー産業は、化石燃料に多く依存しています。特に、石炭と石油を用いる火力発電は日本における主力エネルギーである反面、天然ガスを用いる火力発電の倍以上の CO2 を排出します。そのため、再生可能エネルギーの普及が求められています。特に運輸業界での脱炭素化が遅れている。運送業の運搬手段である、自動車、航空機や海上輸送などは、主燃料に化石燃料が用いられています。日本の自動車業界では 2020 年に CO2 排出量削減のため環境省と国土交通省の連携事業として「トラック輸送高効率化支援事業」がスタート、電気自動車などの次世代自動車の開発が進められています。2021 年は多くの世界メーカーが電気自動車(EV)の販売を促進、国別では中国が 1 位、次いで、欧州、米国、などが EV 化で先行、日本は 15 位(日産)18 位(トヨタ)、国内での乗用車全体に占める割合でも 0.88%と、後れをとっているのが実情です。日本では化石燃料由来の電力比率が高いため EV 化を進めても脱炭素化には必ずしも繋がらず、世界で急速に進化する電気自動車業界の中でも、日本は新技術の開発や充電インフラ整備の投資などの課題も多く本格的な普及にはまだ時間を要すると思われます。

近年、中国や欧米では国をあげて石油の代わりに水素を原料に CO2 の排出を抑える水素エンジンの技術研究が進められています。日本は中国や欧米より大きく後れをとっています。今後の遅れをどのように取り返していくかが大きな課題です。  
 (次号へつづく) (金子 記)